

Corynebacterium sp. による市中肺炎の1例

みずもと かず お¹⁾ いがらし まさ ひこ はやし ひこ た¹⁾
 水 本 一 生¹⁾ 五十嵐 雅 彦¹⁾ 林 彦 多¹⁾
 はっ とり しん じ¹⁾ よし まつ ち ひろ 尋²⁾
 服 部 晋 司¹⁾ 吉 松 千 尋²⁾

キーワード：コリネバクテリウム族，グラム陽性桿菌，市中肺炎

要 旨

症例は68歳男性。生来健康であったが突然、背部痛，呼吸困難を発症し，救急搬入され，検査の結果，左大葉性肺炎と診断された。酸素化不良のため人工呼吸管理が必要な重症肺炎であった。気管内チューブより採取した喀痰のグラム染色では陽性桿菌を認め，培養の結果，コリネバクテリウム菌族が同定された。同菌族は一般的には気道，皮膚，粘膜などの常在菌で日和見感染の起原菌として知られているが市中肺炎を発症した例は稀で，また，本症例のように重症肺炎を発症した報告も稀少であった。菌株の決定のためにさらなる検査を依頼したが同定には至らなかった。

はじめに

コリネバクテリウム菌族 (*Corynebacterium* sp.) は好気性のグラム陽性桿菌で，皮膚・口腔内常在菌である¹⁾。これらのうち diphtheria toxin を産生する *C. diphtheria*，*C. ulcerans* 以外は日和見感染菌として扱われ，上気道や皮膚，粘膜などの臨床材料から分離される。近年，高齢者の嚥下性肺炎，カテーテル感染や敗血症などの起原菌として注目を浴び，さらに抗菌薬に対する耐性化傾向を示してきていることが報告されている^{2,3,4)}。一方，健常成人に発症したコリネバクテ

リウム菌族による市中肺炎の報告は国内外を問わず稀で，呼吸器感染症における起原菌としての意義は十分に解明されているとは言えない。今回我々は，コリネバクテリウム菌族による市中肺炎を経験したので報告する。

症 例

68歳，男性
 主訴：左背部痛，呼吸困難
 現病歴：生来，健康であった。ペットは飼っていない。最近，温泉や循環式浴場を利用したこともなかったが，平成23年9月下旬，急激に左背部の激痛と呼吸困難を発症し，救急搬入された。全身CT検査で左大葉性肺炎の診断にて緊急入院となった。

Kazuo MIZUMOTO et al.

1) 益田地域医療センター医師会病院外科 2) 同 検査部
 連絡先：〒699-3637 益田市遠田町1917番地2